ICOM

取扱説明書

国際VHFトランシーバー

IC-M36J

この無線機を使用するためには、総務省の無線局の免許が必要です。
免許を受けずに使用すると、電波法第110条の規定により処罰されます。
この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明で認定された国際VHFトランシーバーです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

使用後はリサイクルへ

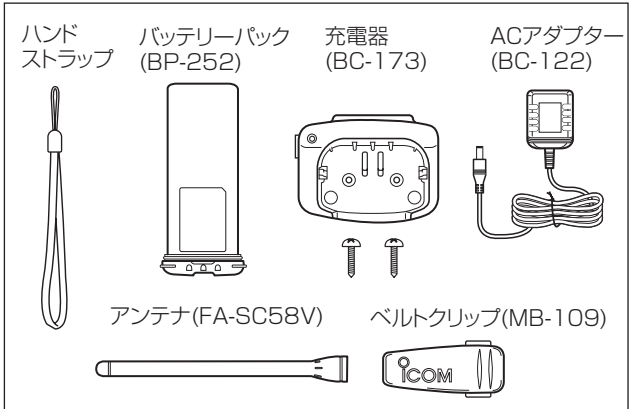
Li-ion

この製品は、充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

付属品について



- □ 取扱説明書(本書)
- □ 申請書類一式
- □ 愛用者カード
- □ 保証書

本製品の概要について

◎水に浮く無線機

本機は付属品を装着している状態で、淡水または海水に浮かびます。

- 弊社指定以外の付属品や別売品を装着した場合、沈む可能性があります。
- 水に浮いた状態が長時間つづくと、バッテリーパックの充電端子がさびる原因になります。

◎より快適な交信を実現

本機には波風や風切り音などの雑音が多い海上環境で、より快適な交信を可能にするノイズ検出機能（☞P20）と最大音量機能（☞P11）を搭載しています。

◎ノイズキャンセリングマイクロホン

本機の後面パネルに装備されたサブマイクから入った周囲のノイズを使って、前面パネルのマイクロホンから入った周囲のノイズを打ち消すことで、送信音声に含まれるノイズ（特に高音域）を軽減できます。

防水性能について

本製品はバッテリーパック(BP-252)またはバッテリーケース(BP-251)、アンテナ、[SP MIC]キャップを装着することで、JIS保護等級7（防浸形）相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。

次のような使いかたをすると、防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
- 雨の中や水滴が付着したまま、またはぬれた手でバッテリーパックやアンテナ、防水形スピーカーマイクを付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥などが無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、歪み、ひび割れなどが発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- バッテリーパックを無線機本体に取り付けないで使用したり、「別売品の防水性能について」に記載する別売品以外を使用したとき
- 無線機本体とバッテリーパック端子間の腐食による故障、または損傷があるとき
- 使用温度範囲からはずれた温度で使用したとき
- 薬品などの蒸気が発散、または薬品に触れるところに放置したとき

別売品の防水性能について

バッテリーパック(BP-252)およびスピーカーマイク(HM-165)は無線機本体に装着することで、JIS保護等級7相当の防水性能になります。

はじめに

電波法上のご注意

◎本製品は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証（技術基準適合証明）を取得した製品です。
これは簡単な手続きにより無線機を使っていただくためのものです。
ご自分で分解や改造をしないでください。

◎免許状に記載されている範囲内で運用してください。

◎特に他の無線局の通信を妨害したり、通信の秘密の保護を侵したりすることは、かたく禁じられています。

◎免許の有効期限は、免許を取得した日から５年間です。
再免許の申請は、免許の切れる６ヵ月前から３ヵ月前のあいだに手続きをしてください。

運用上のご注意

◎この無線機を使用するには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
無資格など資格要件を満たさない人が使用すると、電波法違反で罰せられます。

◎この無線機を船舶以外で使用しないでください。
本機は、海上の船舶で使用するために認められている無線機です。
陸上で使用すると電波法違反で罰せられます。

◎チャンネル１６を聴取するようにしてください。

◎チャンネル１６を一般通話には使用しないでください。
チャンネル１６は、遭難・安全/呼出し専用の共通チャンネルです。
また、指定されていないチャンネルで通信すると、電波法違反で罰せられます。

非常時の運用について

救助が必要な非常時には、下記のようにチャンネル16でDISTRESSコール（遭難信号）を送信します。

チャンネル16で送信する場合

1. MAYDAY（または遭難）　3回
2. THIS IS（こちらは）　1回
3. 遭難船舶局の呼出名称（または呼出符号）、その他の識別表示　3回
4. 遭難した船舶の位置、遭難の種類および求める救助の種類、その他救助を容易にするための事項を伝えます。

海水などが付着したときは？

海水や砂、泥などが無線機やマイクロホンに付着したときは、真水で洗い流してください。洗い流したあとは、水分をふき取り、十分に乾燥させてからご使用ください。

はじめに

取り扱い上のご注意

◎本製品の故障、誤作動、不具合あるいは停電などの外部要因により、通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
◎本書の著作権およびハードウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
◎本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。
◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

ユーザー登録について

ユーザー登録はバージョンアップ・サービスなどをご提供するときに必要になります。
付属の愛用者カードに必要事項をご記入いただき、必ず投函してください。
また、弊社ホームページから登録される場合は、インターネットから、http://www.icom.co.jp/ にアクセスいただき、サポート情報からユーザー登録用フォームにしたがって必要事項を入力してください。

個人情報の取り扱いについて

弊社が個人情報を利用する場合、事前に明確にした利用目的達成の必要範囲内にて利用し、範囲を超えての利用はいたしません。
弊社の個人情報保護方針については、弊社ホームページ(http://www.icom.co.jp/)をご覧ください。

もくじ

はじめに ―――― i
登録商標について …… i
付属品について …… ii
本製品の概要について …… ii
防水性能について …… ii
別売品の防水性能について …… ii
電波法上のご注意 …… iii
運用上のご注意 …… iii
非常時の運用について …… iv
海水などが付着したときは? …… iv
取り扱い上のご注意 …… v
ユーザー登録について …… v
個人情報の取り扱いについて …… v

もくじ ―――― vi

安全上のご注意 ―――― viii
■ 無線機本体について …… viii
■ バッテリーパックについて …… x
■ 充電器について …… xii
■ バッテリーケースについて …… xiv

1.ご使用の前に ―――― 1
■ アンテナの取り付けかた …… 1
■ ハンドストラップの取り付けかた …… 1
■ ベルトクリップの取り付けかた …… 1
■ バッテリーパックの取り付けかた …… 2

2.各部の名称と機能 ―――― 3
■ 前面/側面/後面パネル …… 3
■ 表示部 …… 5

3.基本操作のしかた ―――― 7
■ チャンネルの選択 …… 7
◇ チャンネル16 …… 7
◇ コールチャンネル …… 7
◇ 国際チャンネル …… 8
◇ ウェザーチャンネル …… 8
■ 音量レベル調整 …… 9
■ スケルチレベル調整 …… 9
■ 受信と送信 …… 10
■ コールチャンネルの設定 …… 11
■ 最大音量機能 …… 11
■ ミュート機能 …… 11
■ ロック機能 …… 12
■ 自動バックライト機能 …… 12
■ モニター機能 …… 12
■ アクアクェイク機能 …… 12

もくじ

4.スキャン操作のしかた ——— 13
- ■ スキャンについて …… 13
- ■ タグチャンネルの設定/解除…… 14
- ■ スキャン操作のしかた …… 14

5.デュアルワッチ/トライワッチについて ——— 15
- ■ 概要 …… 15
- ■ 操作 …… 15

6.セットモード ——— 16
- ■ セットモード …… 16
  - ◇ セットモードの操作 …… 16
- ■ セットモードの機能項目 …… 17
  - ◇ ビープ音機能 …… 17
  - ◇ ウェザーアラート機能 …… 17
  - ◇ プライオリティースキャン機能 …… 17
  - ◇ スキャン再スタートタイマー機能 …… 17
  - ◇ オートスキャン機能 …… 18
  - ◇ モニター機能の設定 …… 18
  - ◇ 自動バックライト機能 …… 19
  - ◇ LCDコントラスト …… 19
  - ◇ パワーセーブ機能 …… 19
  - ◇ スケルチ感度 …… 20
  - ◇ Lowパワー固定機能 …… 20
  - ◇ ノイズ検出機能 …… 20

7.充電について ——— 21
- ■ 安全な充電のために …… 21
- ■ 電池の残量表示について …… 21
- ■ バッテリーパック(BP-252)の定格について … 21
- ■ 正しい充電のために …… 22
- ■ 充電のしかた(BP-252/BC-173)…… 22
- ■ 卓上急速充電器(別売品 : BC-162) …… 23
  - ◇ BC-162の取り付けかた…… 23
  - ◇ 充電のしかた …… 23
- ■ バッテリーケース(別売品:BP-251)…… 24
  - ◇ 正しくご使用いただくために …… 24

8.スピーカーマイクロホンについて ——— 25
- ■ HM-165の使いかた …… 25
- ■ 取り付けかた …… 25

9.別売品一覧 ——— 26
- ■ 別売品一覧表 …… 26

10.ご参考に ——— 27
- ■ 故障かなと思ったら …… 27
- ■ 故障のときは …… 28

11.定格 ——— 29
- ■ 一般仕様 …… 29
- ■ 送信部 …… 29
- ■ 受信部 …… 29

12.チャンネルリスト ——— 30

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、
必ずお読みください。

◎使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
◎次の『⚠危険』『⚠警告』『⚠注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
◎お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

免責事項

お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用方法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 無線機本体について

⚠ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。

安全上のご注意

■ 無線機本体について（つづき）

⚠ 警告　**下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。**

◎**アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。**
本人や他人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。

◎**指定のバッテリーパックやバッテリーケース以外を使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **製品の分解や改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎ **万一煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

◎ **最大音量機能を使用するときは、耳から無線機をはなしてください。**
聴力障害の原因になります。

◎ **アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続しないでください。**
感電、故障の原因になります。

⚠ 注意　**下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。**

◎**直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には放置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎**ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因になることがあります。

◎**清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対に使用しないでください。**
ケースが変質したり、塗料がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

◎**マイクロホンおよび別売品を接続するときは、指定以外の機器を使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

◎**テレビやラジオの近くで送信しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎ **アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。**
変形や破損の原因になることがあります。

◎ **－20～＋60℃以外の温度で使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

◎ **強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

◎ **各コネクター部に金属片やゴミを付着させないでください。**
ショートして発火の原因になることがあります。

◎ **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。

◎ **インバーター内蔵の電子機器の周辺で使用しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎ **針金などの細い棒でマイクロホン部やスピーカー部の穴に触れないでください。**
故障の原因になることがあります。

■ バッテリーパックについて

⚠ 危険	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎**火の中に投入したり、加熱したりしないでください。**
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。

◎**コンクリートなどの堅い床に落としたりするなど、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎**直射日光の当たる場所や火やストーブのそば、車内や炎天下など、60℃を超える環境で放置、または使用しないでください。**
バッテリーパックの性能や寿命の低下、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。

◎**火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での充電はしないでください。**
保護装置が動作して、充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、やけどの原因になります。

◆**バッテリーパックをご使用の際に、異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。**

安全上のご注意

■バッテリーパックについて (つづき)

⚠ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。

- ●バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
- ●バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
- ●ネックレスなどの金属類や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
- ●バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- ●弊社指定の充電器での充電、および無線機の使用について厳しい検査をしていますので、弊社指定以外の無線機や充電器、およびそれ以外の用途には使用しないでください。
- ●バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したりしたときは、こすったり、触ったりしないでください。
  失明、皮膚障害のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- ●バッテリーパックは、分解や改造をしないでください。

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎使用中や充電中、または保管中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。

◎赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電やけがの原因になります。

◎電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎指定の充電時間以上、充電しないでください。
満充電後、すぐに再充電を繰り返すと、過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。

◎指定の充電時間を超えても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎バッテリーパックは、ぬれた状態で弊社指定の無線機や充電器に装着しないでください。
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

◎テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。

- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
  長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、バッテリー残量が約半分になるまで使用して、無線機から取りはずした状態で保管してください。
- 0～45℃の温度範囲以外の環境で充電しないでください。
- 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、バッテリーパックを無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
  約1ヵ月　：−20～+50℃
  約3ヵ月　：−20～+35℃
  約1年　　：−20～+20℃

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対に使用しないでください。

ケースが変質したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

■ 充電器について

⚠ 危険	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。

- ACアダプターは、各充電器で指定された以外のものを使用しないでください。
  卓上充電器(BC-173)：ACアダプター(BC-122)
  卓上急速充電器(BC-162)：ACアダプター(BC-151)
- 弊社指定以外のバッテリーパックは、使用しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
  また、ご自分で修理しないでください。

安全上のご注意

■充電器について(つづき)

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

- ●赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
- ●充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。
  また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ●ぬれた手で電源プラグや機器に絶対触れないでください。
- ●電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください。
- ●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- ●充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- ●電源ケーブルが傷ついているときや、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- ●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは使用しないでください。
  すぐにACコンセントからACアダプター、または充電器のDCジャックから弊社指定のケーブル(CP-23L)を抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。

- ●0～45℃の温度範囲以外の環境で充電しないでください。
- ●充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
- ●湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で充電しないでください。
- ●電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
- ●充電後や充電しないときは、すぐにACコンセントからACアダプター、または充電器のDCジャックから弊社指定のケーブル(CP-23L)を抜いてください。

◎直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。
充電器の火災、故障、変形、変色、またはバッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になることがあります。

◎充電器を保管するときは、湿気の少ない場所に保管してください。
サビの発生、性能の低下の原因になることがあります。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。
ケースが変質したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

■ バッテリーケースについて

⚠ 危険 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

- BP-251(別売品)は、アルカリ乾電池専用のバッテリーケースです。
  アルカリ乾電池以外の電池を入れないでください。
- 充電しないでください。
- ハンダ付けしないでください。
- バッテリーケースの電池端子間をショートさせないでください。
- ネックレスなどの金属類や導電性のあるものをバッテリーケースの上に放置したり、バッテリーケースといっしょに持ち運んだりしないでください。
- 火やストーブのそば、炎天下など、高温になる場所での使用、または放置をしないでください。
- 長時間使用しない場合は、液もれのおそれがありますので、アルカリ乾電池を取りはずしてください。
  また、電池のアルカリ液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したりしたときは、こすったり、触ったりしないでください。
  失明、皮膚障害のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

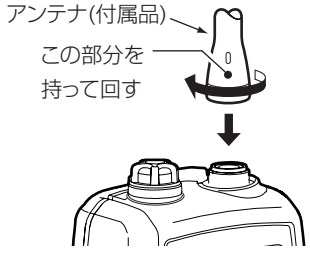
◎下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、けがの原因になります。

- テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
  アルカリ乾電池から、ガスが発生することがあります。
- 水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 電池を交換するときは、すべての電池を同時に交換してください。
  また、種類の異なる電池を混ぜて使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

1 ご使用の前に

■ アンテナの取り付けかた

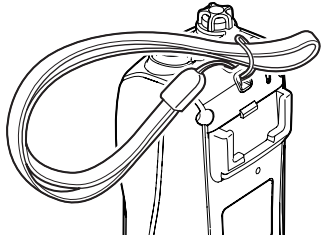
取り付けるときは、アンテナの根元を持って時計まわりに、手で締まる程度まで回します。
取りはずすときは、アンテナの根元を持って反時計まわりに回します。



⚠注意
◎アンテナを持って本製品を持ち運ばないでください。
◎アンテナを接続しないで送信すると、故障の原因になります。

■ ハンドストラップの取り付けかた

運用時や持ち運ぶときに、ハンドストラップを手首に通しておくと、落としたりしないで安全です。

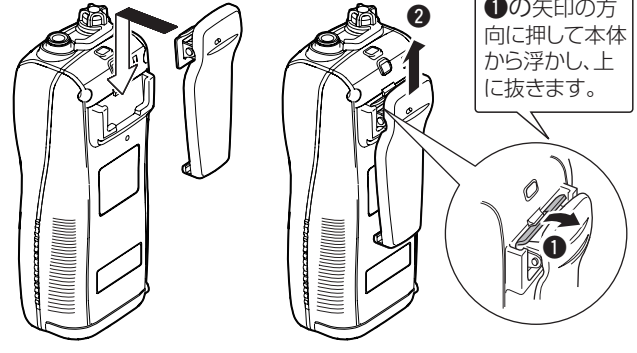


⚠警告
アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。

■ ベルトクリップの取り付けかた

取り付けるときは、図のように「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
取りはずすときは、指や爪をいためないようにご注意ください。

取り付けるとき　　取りはずすとき

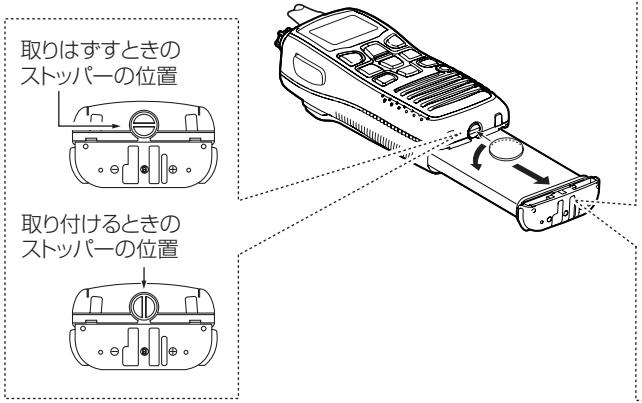


■ バッテリーパックの取り付けかた

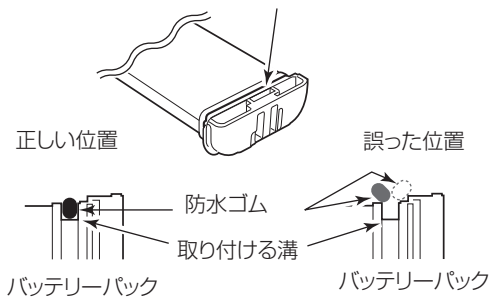
バッテリーパックを無線機本体にしっかりと挿入し、ストッパーを時計回りに90度回転させてください。
取りはずすときは、ストッパーを反時計回りに90度回転させて矢印の方向にバッテリーパックを引き抜いてください。

【ご注意】
取り付けや取りはずしをするときは、指や爪をいためないように、コインやドライバーなどを使ってストッパーを回転させてください。
そのとき、防水ゴムがずれていないか確認してください。
防水ゴムがずれたまま、バッテリーパックを取り付けると、防水ゴムが破損するおそれがあります。
防水ゴムが破損すると、防水性能を維持できません。

⚠警告
製品やバッテリーパックがぬれたり汚れたりした状態で、取り付けたり、取りはずしたりしないでください。本製品やバッテリーパックの各端子がさびるなどして、故障の原因になります。

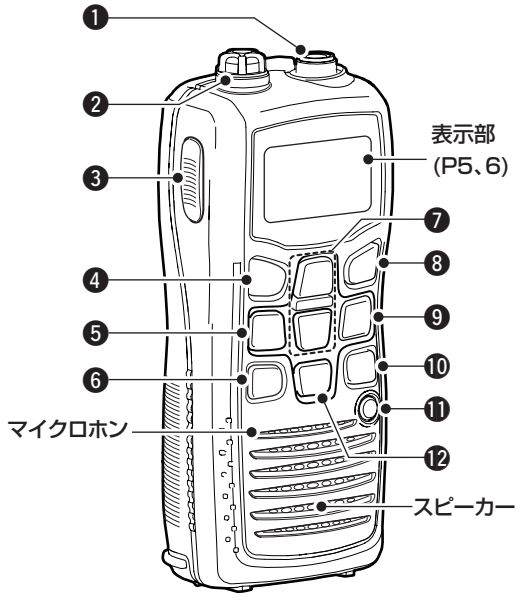


【ご注意】バッテリーパックを取り付けるとき、ゴミくずなどが防水ゴムに付着していないか、防水ゴムが溝からずれていないかを確認してください。上記の内容に該当する場合は、防水性能を維持できません。



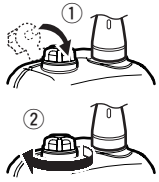
2 各部の名称と機能

■ 前面/側面/後面パネル



❶アンテナコネクター(☞P1)
付属のアンテナを接続するコネクターです。

❷スピーカーマイクロホンコネクター(☞P25)
別売品の外部スピーカーマイクロホンを取り付けるコネクターです。
ご注意:スピーカーマイクロホンを取り付けないときは、ホコリや水の侵入を防ぐため、以下の要領で[SP MIC]キャップを装着してください。



①[SP MIC]キャップを取り付けます。

②完全に閉まるまで時計回りに回します。

❸PTT(送信)スイッチ[PTT]
押しているあいだは送信状態、はなすと受信状態になります。(☞P10)

❹チャンネル16キー[16 9]
- ➥ キーを短く押すと、チャンネル16を選択します。(☞P7)
- ➥ キーを長く(約1秒)押すと、コールチャンネルを選択します。(☞P7)
- ➥ コールチャンネル選択時、約3秒間押すと、コールチャンネルの設定状態になります。(☞P11)
- ➥ セットモードで、キーを短く押すと通常画面に戻ります。(☞P16)

❺音量・スケルチ/モニターキー[VOL/SQL MONI]

➥ キーを短く押すごとに音量調整モードとスケルチ調整モードを切り替えます。(☞P9)

➥ ノイズ検出機能、最大音量機能、ミュート機能を動作中に、このキーを短く押すと音量レベルがもとに戻ります。(☞P11,20)

➥ キーを長く(約1秒間)押すとモニター機能が動作します。(☞P12)

➥ キーを押しながら電源を入れると、セットモードに入ります。(☞P16)

➥ セットモード中は、キーを押すごとに機能項目を切り替えます。(☞P16)

❻SCAN(スキャン)/DUAL(デュアル)キー[SCAN DUAL]

➥ キーを短く押すと、通常スキャンまたはプライオリティースキャンをスタートします。(☞P14)

- もう一度短く押すと、機能を解除します。(☞P14)

➥ キーを長く(約1秒)押すと、デュアルワッチまたはトライワッチをスタートします。(☞P15)

- もう一度短く押すと、機能を解除します。(☞P15)

➥ このキーと[Hi/Lo]を同時に押し続けると、アクアクェイク機能を動作させます。(☞P12)

❼アップ/ダウンキー[△]/[▽]

➥ 運用チャンネルを選択します。(☞P7、8)

➥ スキャン動作中は、タグ(スキャン対象)設定をしているチャンネルを順に確認します。(☞P14)

➥ スケルチ調整モードでスケルチレベル、音量調整モードで音量レベルを変更します。(☞P9)

➥ セットモードで、設定値を選択します。(☞P16)

❽フェイバリット/タグキー[FAV TAG]

➥ キーを短く押すごとに、タグ(スキャン対象)チャンネルだけを順番に選択します。(☞P7)

- スキャン中、タグ設定されていないチャンネルはスキップされます。(☞P14)

➥ 長く(約1秒)押すと、表示されているチャンネルをタグチャンネルに設定または解除します(☞P14)

➥ キーを押しながら電源を入れると、グループ内の全チャンネルをタグに設定(または解除)します。(☞P14)

❾チャンネル/ウェザーチャンネルキー[CH/WX U/I/C]

➥ キーを短く押すごとに、ウェザーチャンネルと国際チャンネルグループを切り替えます。

➥ チャンネル16、またはコールチャンネルを選択したあとにこのキーを短く押すと、元のチャンネルに戻ります。(☞P7)

■前面/側面/後面パネル(つづき)

⑩送信出力/ロックキー[Hi/Lo]

➥ キーを短く押すごとに、送信出力(High/Low)を切り替えます。(☞P10)

➥ キーを長く(約1秒)押すごとに、ロック機能をON/OFFします。(☞P12)

⑪電源[⏻]

キーを長く押すごとに電源をON/ OFFします。

⑫最大音量/ミュートキー[LOUD MUTE]

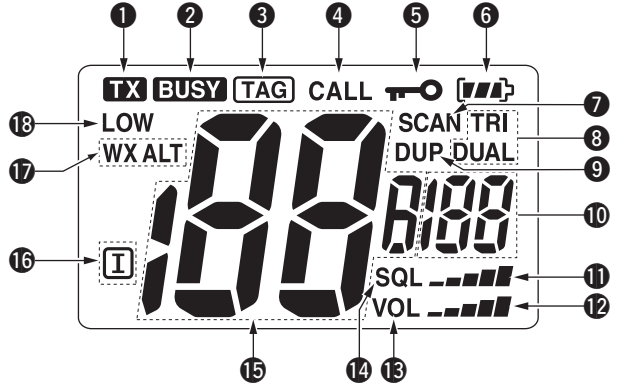
➥ キーを短く押すごとに、最大音量機能をON/OFFします。(☞P11)

➥ キーを長く(約1秒)押してミュート機能をONにします。短く押して機能をOFFにします。(☞P11)

⑬サブマイク

本機の後面パネルに装備されたサブマイクから入った周囲のノイズを使って、前面パネルのマイクロホンから入った周囲のノイズを打ち消すことで、送信音声に含まれるノイズ(特に高音域)を軽減できます。

■表示部



❶送信中表示部

送信中に点灯します。(☞P10)

❷受信中表示部

➥ 信号を受信しているとき、またスケルチが開いているときに点灯します。(☞P10)

➥ モニター中は点滅します。(☞P12)

❸タグチャンネル表示部

タグチャンネルを選択しているときに点灯します。(☞P14)

❹コールチャンネル表示部(☞P7)

コールチャンネルを選択しているときに点灯します。

❺ロック表示部(☞P12)

ロック機能が動作しているあいだ、点灯します。

❻ 電池残量表示部

電池の残量を4段階で表示(点灯)します。

表示	[▮▮▮]	[▮▮]	[▮]	[ ]
バッテリーパック/バッテリケースの状態	十分	残量あり	残量少	残量なし

[▮▮▮] 過充電時には点滅します。
[ ] 電池残量がなくなると点滅します。

❼ スキャン表示部 (☞P14)

スキャン中、点滅します。

❽ デュアルワッチ / トライワッチ表示部 (☞P15)

➥ デュアルワッチ中、「DUAL」を点灯します。
➥ トライワッチ中、「TRI」を点灯します。

❾ デュプレックス表示部

デュプレックスチャンネル選択時、点灯します。

❿ サブチャンネル表示部

➥ プライオリティースキャン、デュアルワッチ、トライワッチ運用時は、チャンネル16を表示します。(☞P14、15)
➥ セットモード中、セットモード項目を表示します。(☞P16)
➥ 音量調整モードで、音量レベルを表示します。(☞P9)
➥ スケルチ調整モードで、スケルチレベルを表示します。(☞P9)

⓫ スケルチレベル表示部

スケルチレベルを表示します。

⓬ 音量レベル表示部

➥ 音量レベルを表示します。
➥ 最大音量機能動作時、繰り返し音量表示バーは段階的に点灯します。(☞P11)
➥ ミュート機能動作時、点滅します。(☞P11)

⓭ 音量レベル調整表示部 (☞P9)

➥ 音量レベル調整時、点滅します。
➥ ノイズ検出機能によって音量が自動的に上がっているときは、音量レベル調整表示部と音量レベル表示部を交互に点灯します。(☞P20)

⓮ スケルチレベル調整表示部 (☞P9)

スケルチレベル調整時、点滅します。

⓯ チャンネル番号表示部

➥ 選択された運用チャンネル番号を表示します。
➥ セットモードで選択された状態を表示します。(☞P16)

⓰ チャンネルグループ表示部 (☞P8)

国際チャンネルグループ選択時に点灯します。

⓱ ウェザーチャンネル / ウェザーアラート表示部 (☞P8)

➥ ウェザーチャンネルグループ選択時、「WX」を点灯します。
➥ ウェザーアラート機能動作中、「WX ALT」を点灯します。
● 気象警報トーンを受信すると点滅します。

⓲ Low パワー固定表示部 (☞P20)

➥ Lowパワー選択時、「LOW」を点灯します。
● 高温や低電圧が原因で強制的にLowパワー状態に切り替わると、「LOW」を点滅します。

3 基本操作のしかた

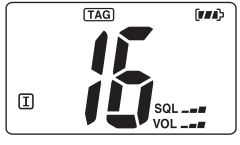
■ チャンネルの選択

◇ チャンネル 16

チャンネル16は、遭難および安全信号チャンネルです。
このチャンネルは、ほかの局との初期通信を確立するため、また緊急連絡に使用します。そのため、待ち受け中もモニターする必要があります。
チャンネル16は、デュアルワッチおよびトライワッチの対象で、動作時にモニターされます。

- ➥ [16 9]を短く押すと、チャンネル16になります。
- ➥ [CH/WX U/I/C] を短く押して、チャンネル16を選択する前の状態へ戻るか、[△]/[▽]を押して、運用チャンネルを選択します。

短押し



<ご参考>

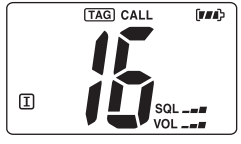
- ➥ [FAV TAG] を押しながら、[△]/[▽]を押すと、タグチャンネルだけをアップまたはダウン方向に切り替えます。
- ➥ [FAV TAG]を短く押すと、タグチャンネルだけをアップ方向に切り替えます。
- ➥ [FAV TAG]を長く(約1秒)押すと、選択しているチャンネルをタグチャンネルに設定できます。(☞P14)

◇ コールチャンネル

チャンネル16とは別に、頻繁に使用する運用チャンネルを簡単に呼び出せるコールチャンネルを設定できます。
このコールチャンネルは、トライワッチの対象となります。
出荷時はチャンネル16を設定していますが、お好みのチャンネルに変更できます。(☞P11)

- ➥ [16 9]を長く(約1秒)押すと、コールチャンネルを選択します。
  - ● 「CALL」表示が点灯し、コールチャンネル番号を表示します。
- ➥ [CH/WX U/I/C]を押して、コールチャンネルを選択する前の状態へ戻す、または[△]/[▽]を押して、運用チャンネルを選択します。

長押し(約1秒)



◇国際チャンネル

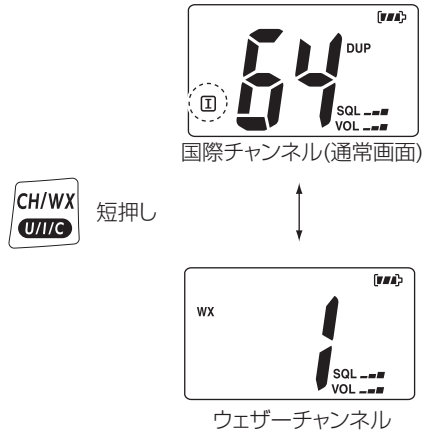
本機で使用できる国際チャンネル数は57チャンネルです。

①[CH/WX U/I/C]を短く押すごとに、ウェザーチャンネルと国際チャンネルグループを切り替えます。

- 国際チャンネルグループ選択時、「I」表示が点灯します。
- ウェザーチャンネル選択時、「WX」表示が点灯します。
- ウェザーアラート機能ON時、「WX ALT」表示が点灯します。

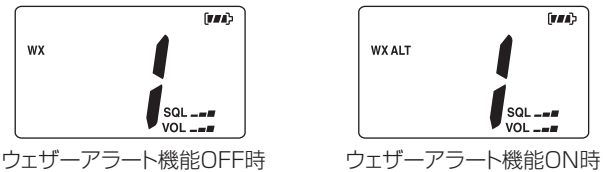
②[△]/[▽]を押して、チャンネルを選択します。

- デュプレックスチャンネルを選択したときは、「DUP」表示が点灯します。



◇ウェザーチャンネル

米国およびカナダにおいて、NOAA（米国海洋大気庁）放送からのウェザーチャンネルを受信するために使用します。
ウェザーアラート機能ON時は、選択したウェザーチャンネルで気象警報放送がはじまると、自動的にウェザーチャンネルに切り替わるため、別のチャンネルで待ち受け中やスキャン中でも重要な気象警報を聞き逃すことを防止できます。
※日本の海域および近海では受信できません。

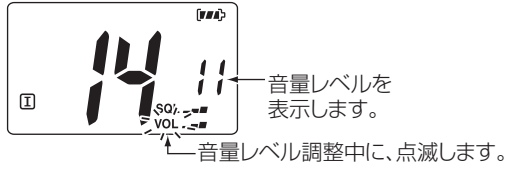


■ 音量レベル調整

音量レベルは、[VOL/SQL MONI]と[△]/[▽]を使って調整します。

① [VOL/SQL MONI]を押して音量調整モードに入り、[△]/[▽]で音量レベルを調整します。
- 「VOL」表示が点滅します。
- 本機には音量レベルが31段階あります。

② [VOL/SQL MONI]を2回押すと、通常画面に戻ります。
- キーを操作しない状態が約5秒続くと、自動的に通常画面に戻ります。

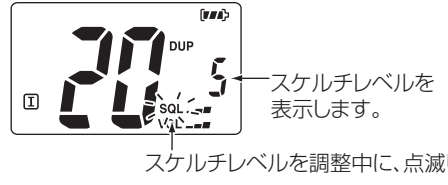


■ スケルチレベル調整

スケルチレベルは[VOL/SQL MONI]と[△]/[▽]を使って調整できます。
信号を正しく受信したり、スキャンを効率よく動作させたりするために、スケルチを適切なレベルに調整しておく必要があります。

① [VOL/SQL MONI]を短く2回押して、スケルチ調整モードに入り、[△]/[▽]でスケルチレベルを調整します。
- [SQL]表示が点滅します。
- スケルチレベルは11段階あります。
- 数値が大きいほどスケルチは開きにくく、数値が小さいほどスケルチが開きやすくなります。
- 「OP」はスケルチが完全に開いている状態を示し、スケルチレベルの数値が小さいほど、弱い信号でも受信できます。

② もう一度[VOL/SQL MONI]を短く押すと、スケルチ調整モードを終えます。



■ 受信と送信

① [POWER]を長く押して、電源をONにします。
② 音量レベルとスケルチレベルを設定します。
[VOL/SQL MONI]を押すと、音量とスケルチを設定することができます。
- スケルチ調整モードに入り、[▽]を数回押してスケルチを開きます。
- 音量調整モードに入り、[△]/[▽]でボリュームを調整します。
- スケルチ調整モードにもう一度入り、ノイズが消えるまで[△]を押します。

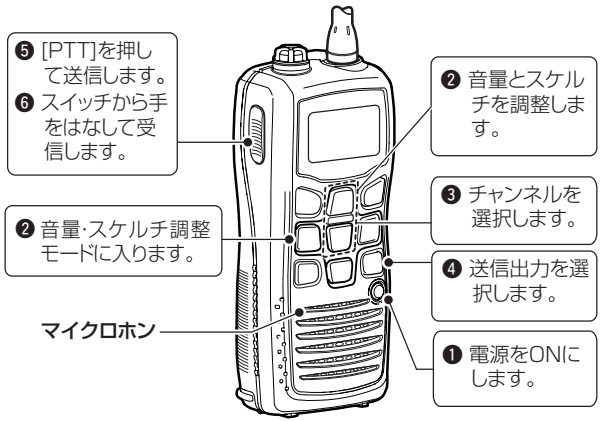
③ [△]/[▽]を押して、運用するチャンネルを選択します。
- 信号を受信すると、**BUSY** 表示が点灯し、スピーカーから音声が聞こえます。
- 必要に応じて、音量を調整します。

④ [HI/Lo]を短く押して、送信出力を切り替えます。
- Lowパワー選択時、「LOW」が点灯します。Highパワーを選択すると、「LOW」が消灯します。
- 近距離通信の場合にはLowパワーを、長距離通信の場合にはHighパワーを選択します。
- Lowパワーしか使えないチャンネルがあります。

⑤ [PTT]を押しながら、マイクロホンに向かって話します。
- 送信状態になり、**TX** が点灯します。
- チャンネル70では送信できません。

⑥ [PTT]をはなすと、受信状態に戻ります。

⚠警告
本機にアンテナを接続していないときは、絶対に送信しないでください。



<タイムアウトタイマー機能>
送信の連続時間を制限するタイムアウトタイマー機能を搭載しています。送信時間を監視し、5分間連続して送信状態が続いた場合、タイムアウト機能が動作し、強制的に送信を停止します。

マイクロホンに向かって話すときは
マイク部と口元は5cmぐらいはなし、普通の大きさの声で話してください。
近づけすぎたり、大きな声で話すとかえってめいりょう度が悪くなりますのでご注意ください。

3 操作のしかた

■ コールチャンネルの設定

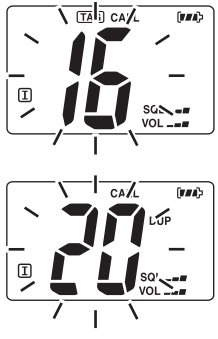
出荷時、コールチャンネルは、チャンネル16に設定されています。すばやくコールができるように、よく使用するチャンネルをコールチャンネルに設定します。

① **[16 9]**を長く(約1秒)押すと、国際チャンネルのコールチャンネルを表示します。
- **[CALL]**表示が点灯し、コールチャンネル番号が表示されます。

② コールチャンネルを選択している状態で、**[16 9]**を長く(ピー、ピピッと鳴るまで)押すと、コールチャンネルの設定モードに入ります。
- チャンネル番号表示部が点滅します。

③ **[△]/[▽]**を押して、使用するチャンネルを選択します。

④ **[16 9]**を短く押すと、選択したチャンネルをコールチャンネルとして設定します。
- チャンネル番号表示部の点滅が停止します。



■ 最大音量機能

[LOUD MUTE]を短く押して、音量レベルを瞬時に最大レベルに上げる機能です。
音量レベルが31に設定されているとき、この機能は動作しません。

> **⚠警告**
> 聴力障害の原因になりますので、最大音量機能を使用するときは、耳から無線機をはなしてください。

① **[LOUD MUTE]**を短く押すと、最大音量機能が動作します。
- 音量レベルが最大(31)に設定されます。
- 音量表示バーは段階的に点灯します。

② もう一度**[LOUD MUTE]**を押すと、最大音量機能が解除します。
- **[VOL/SQL MONI]**を押しても、解除できます。

■ ミュート機能

① **[LOUD MUTE]**を長く(約1秒)押すと、ミュート機能が動作します。
- 音量レベルがOFFに設定されます。
- 音量レベル表示部が点滅します。

② **[LOUD MUTE]**を短く押すとミュート機能が解除されます。
- **[VOL/SQL MONI]**を押しても、解除できます。

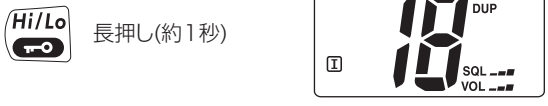
■ ロック機能

不用意にキーを押しても、運用チャンネルなどの運用状態が変わらないように、キー操作を無効にする機能です。ただしロック機能がONのときでも、[PTT]、[VOL/SQL MONI]、[LOUD MUTE]および[Hi/Lo]は操作できます。

- また音量調整モード・スケルチ調整モード中は、[△]/[▽]も操作できます。

[Hi/Lo]を長く(約1秒)押すごとに、ロック機能をON/OFFします。

ロック機能が動作中、表示されます。



■ 自動バックライト機能

表示部やキーのバックライトを点灯する機能です。夜間の使用に便利です。

➥ 自動バックライト機能はセットモードで設定します。(☞P19)

➥ [PTT]以外のキーを押すと、バックライトが点灯します。

➥ キーを操作しない状態が約5秒続くと、バックライトは自動的に消灯します。

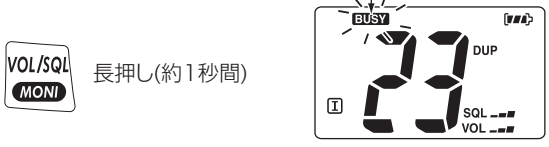
■ モニター機能

通話中に相手局の信号が弱く、音声が途切れたり、聞こえにくかったりする場合、スケルチを強制的に開いて、聞き取りやすくする機能です。セットモードでモニターキーの動作を設定します。

➥ [VOL/SQL MONI]を長く(約1秒)押すと、モニター機能が動作します。

- BUSY 表示が点滅し、スケルチが開きます。

モニター機能が動作中、点滅します。



■ アクアクェイク機能

スピーカー部分に溜まった水をスピーカーの振動により排出する機能です。スピーカー部分の浸水による音のこもりや音量低下を解消することができます。

➥ [SCAN]と[H/Lo]を同時に長く押します。

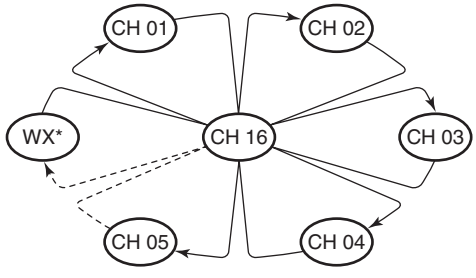
- 音量の設定レベルに関わらず、排水のため低いビープ音が約9秒間鳴り続けます。
- アクアクェイク機能動作中は、ほかのキー操作が無効となります。
- 別売品のスピーカーマイクロホンを接続しているときは、アクアクェイク機能は動作しません。

4 スキャン操作のしかた

■ スキャンについて

スキャンとは、広範囲にわたってチャンネルを自動で切り替え、信号の出ているチャンネルを探し出す機能です。
本機には、プライオリティースキャンとノーマルスキャンがあります。
また、待ち受け状態で便利なウェザーアラート機能やオートスキャン機能も使用できます。
これらの機能はセットモードの設定により、同時に運用できます。(☞P17、18)

プライオリティースキャン

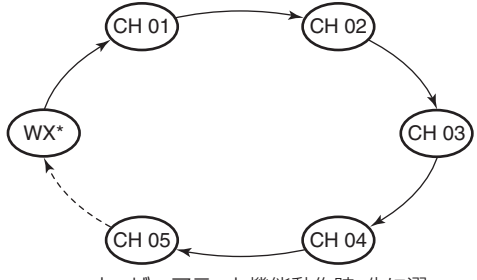


*ウェザーアラート機能動作時、先に選択していたウェザーチャンネル

プライオリティースキャンは、チャンネル16をモニターしながら、すべてのタグチャンネルを順にスキャンしていきます。
チャンネル16で信号を検出すると、信号が消えるまでスキャンを一時停止します。
チャンネル16以外のチャンネルで信号が検出されると、その信号が消えるまでスキャンはデュアルワッチになります。

スキャンする前に、タグ(スキャン対象)チャンネルを設定をする必要があります。
デジタル通信など、頻繁に電波が発射されていて、スキャンを停止させる原因となるチャンネルは、タグ(スキャン対象)を解除します。(☞P14)
またスキャンモード(ノーマルスキャンまたはプライオリティースキャン)をセットモードで選択します。(☞P17)

ノーマルスキャン



*ウェザーアラート機能動作時、先に選択していたウェザーチャンネル

ノーマルスキャンは、プライオリティースキャンと同様、すべてのタグチャンネルを順にスキャンします。ただし、プライオリティースキャンと異なりチャンネル16をタグチャンネルに設定しないと、チャンネル16がスキャンされないため、ご注意ください。

■ タグチャンネルの設定/解除

本機のスキャン機能は、タグを設定したチャンネルだけをスキャンして、その他のチャンネルはスキップします。
スキャンに必要のないチャンネルのタグ設定を解除することで、スキャンの対象からはずすことができます。
※出荷時、すべてのチャンネルにタグが設定されています。

①ウェザーチャンネルを選択している場合は、**[CH/WX U/I/C]**を短く押して、国際チャンネルを選択します。
②スキャンの対象(タグチャンネル)からはずすチャンネルを選択します。
③**[FAV TAG]**を長く(約1秒)押して、タグ設定をON/OFFします。
- スキャンの対象に設定した場合、**「TAG」**表示が点灯します。
- スキャンの対象からはずした場合、**「TAG」**表示が消灯します。

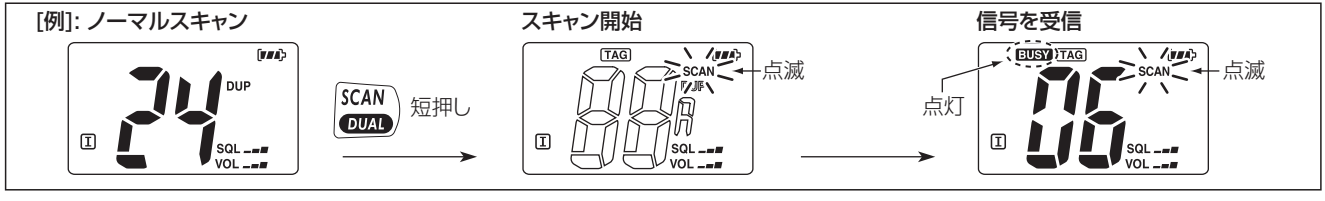
<ご参考:タグチャンネルの一括設定/解除>
[FAV TAG]を押しながら電源をONにすると、チャンネルグループ内の全チャンネルをタグ(スキャン対象)チャンネルに一括設定、またはタグ設定を一括解除します。

■ スキャン操作のしかた

セットモードであらかじめウェザーアラート機能、プライオリティースキャン機能、スキャン再スタートタイマー機能、オートスキャン機能を設定しておきます。(☞P17,18)

①**[SCAN]**を短く押して、プライオリティースキャンまたはノーマルスキャンをスタートします。
- **「SCAN」**表示が点滅します。
- プライオリティースキャン中は、サブチャンネル表示部に**「16」**が表示されます。
- 信号を検出すると、スキャン再スタートタイマーの設定により、その信号が消えるまでスキャンを一時停止、または5秒間の停止後、再スタートします。
- **[△]/[▽]**を押して、タグチャンネルの確認、スキャン方向の変更、スキャンの再スタートをすることができます。

②スキャンを解除するには、**[SCAN]**を押します。
- **「SCAN」**表示が消灯します。
- **[PTT]、[16 9]、[CH/WX]、[FAV TAG]**のいずれかを押しても、スキャンを解除します。



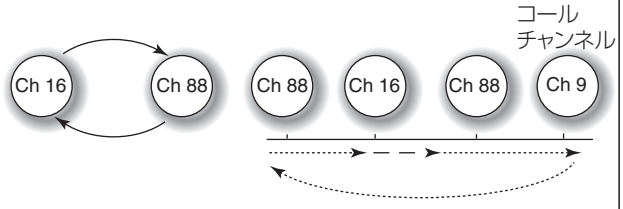
5 デュアルワッチ/トライワッチについて

■ 概要

デュアルワッチは、チャンネル16以外のチャンネルを受信しながら、チャンネル16をモニターします。
トライワッチは、別のチャンネルを受信しながら、チャンネル16とコールチャンネルをモニターします。

デュアルワッチ/トライワッチの動作例

※例は、コールチャンネルをチャンネル9にした場合です。

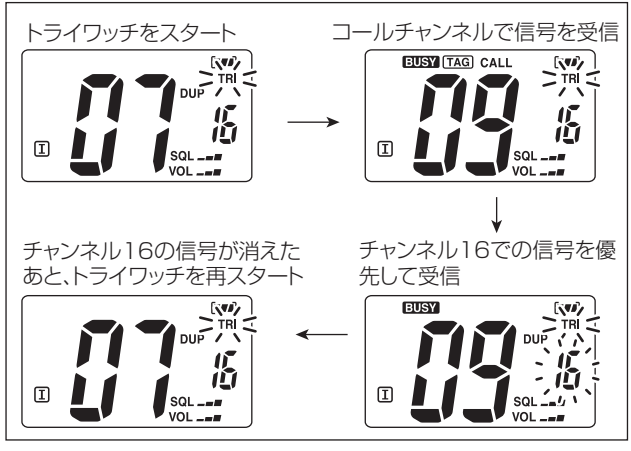


- チャンネル16で信号を受信した場合、その信号がなくなるまでチャンネル16を受信します。
  (デュアルワッチ/トライワッチは、チャンネル16の信号がなくなるまで一時停止します)。
- トライワッチ中にコールチャンネルで信号を受信した場合、その信号が消えるまでトライワッチは、チャンネル16とコールチャンネルとのデュアルワッチになります。
- デュアルワッチ(トライワッチ)中に選択したチャンネルで送信するときは、**[PTT]**を押します。

■ 操作

①セットモードでデュアルワッチまたはトライワッチを選択します。
②チャンネルを選択します。
③**[DUAL] (SCAN)**を長く(約1秒)押すと、デュアルワッチまたはトライワッチを開始します。
- デュアルワッチ中は**「DUAL」**表示が、トライワッチ中は**「TRI」**表示が点滅します。
- チャンネル16で信号を受信したときは、ビープ音が鳴ります。
- コールチャンネルで信号を受信したときは、トライワッチがデュアルワッチに変わります。

④デュアルワッチ(トライワッチ)を解除するには、もう一度**[DUAL] (SCAN)**を押します。



■ セットモード

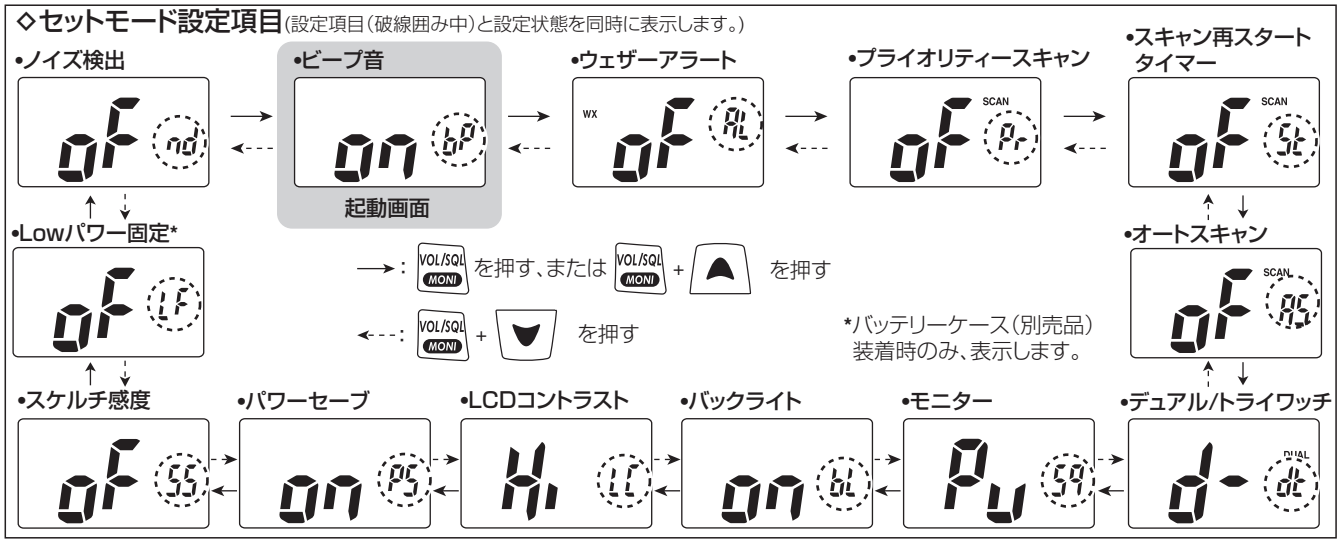
セットモードでは、本機の諸機能の状態を設定します。

諸機能一覧 ; ビープ音、ウェザーアラート、プライオリティースキャン、スキャン再スタートタイマー、オートスキャン、デュアルワッチ/トライワッチ、モニター、バックライト、LCDコントラスト、パワーセーブ、スケルチ感度、Lowパワー固定 *、ノイズ検出

*別売品のバッテリーケース(アルカリ乾電池)装着時のみ、表示されます。

◇ セットモードの操作

① 電源をOFFにします。
② セットモードに入ります。
➥[VOL/SQL] を押しながら、電源をONにします。
セットモードに入ると、「bP」表示が点灯します。
③ 設定項目を選択します。
➥[VOL/SQL] を繰り返し押す、または [VOL/SQL] を押しながら [△]/[▽] を押して、設定する項目を選択します。
④ 設定値を選択します。
➥ [△]/[▽] を押して、設定値を選択します。
⑤ [16 9]を押して、セットモードを終えます。

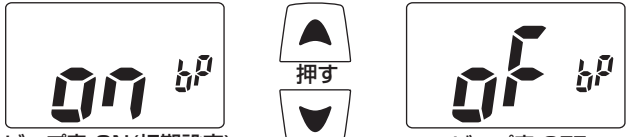


■ セットモードの機能項目

◇ ビープ音機能

キーを押したときに鳴る操作音を選択します。

- oF ：ビープ音は鳴りません。
- on ：ビープ音が鳴ります。
- US : プリセットビープ音が鳴ります。



ビープ音 ON(初期設定)　　ビープ音 OFF

◇ ウェザーアラート機能

ウェザーアラート機能は、気象警報トーンを検出する機能です。
NOAA放送局は、重要な気象情報を流す前に、気象警報トーンを送信します。
待機中、パワーセーブ機能動作中またはスキャン中は随時、先に選択されたウェザーチャンネルを調べます。
表示部に「ALT」表示が点灯します。

- 本機は警報を検出すると、本機を操作するまで「ALT」表示を点滅させ、ビープ音を出力します。

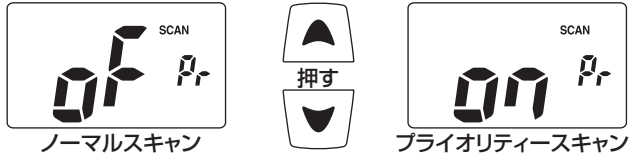
ウェザーアラート機能 OFF
(初期設定)　　ウェザーアラート機能 ON

◇ プライオリティースキャン機能

プライオリティースキャン機能はチャンネル16をモニターしながら、すべてのタグチャンネルをスキャンする機能です。

➥ノーマルスキャンは、選択したチャンネルグループ内のすべてのタグチャンネルをスキャンします。

- oF : ノーマルスキャンを選択します。
- on : プライオリティースキャンを選択します。

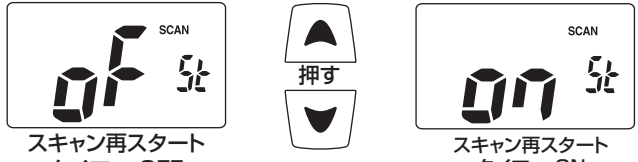


ノーマルスキャン
(初期設定)　　プライオリティースキャン

◇ スキャン再スタートタイマー機能

スキャン再スタートの条件(タイマー)を設定します。

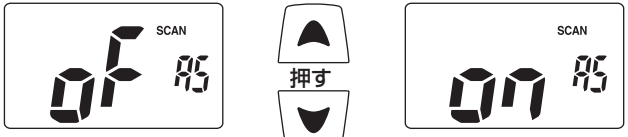
- oF : 受信した信号が消えるまでスキャンを一時停止し、信号が消えると、再スタートします。
- on : 信号を受信すると、スキャンを約5秒停止したあと、スキャンを再スタートします。



スキャン再スタート
タイマー OFF
(初期設定)　　スキャン再スタート
タイマー ON

◇ オートスキャン機能

オートスキャン機能は自動的にスキャンをスタートする機能です。
無信号状態でキー操作が30秒以上ない場合、自動的にスキャンをスタートします。

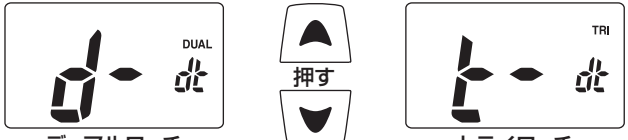


オートスキャン OFF
(初期設定)

オートスキャン ON

◇ デュアルワッチ/トライワッチ機能

デュアルワッチ、またはトライワッチ機能を選択します。
初期設定はデュアルワッチ機能です。(☞P15)



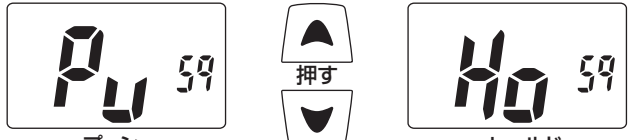
デュアルワッチ
(初期設定)

トライワッチ

◇ モニター機能の設定

モニター機能は、受信時に相手の音声が途切れるとき、スケルチを瞬時に開けて、聞こえやすくする機能です。
[MONI](VOL/SQL)を押し続けているあいだ、モニター機能を動作させるか、押すごとにモニター機能をON/OFFさせるかを設定します。

- Pu(PUSH) : **[MONI](VOL/SQL)**を長く(約1秒以上)押します。
  - この設定では、**[MONI](VOL/SQL)**を押し続けているあいだのみ、モニター機能が動作します。
- Ho(HOLD) : **[MONI](VOL/SQL)**を長く(約1秒)押すと、モニター機能が動作します。(**[MONI](VOL/SQL)**キーを押し続けている必要はありません。)
  - もう一度**[MONI](VOL/SQL)**を短く押すと、モニター機能が解除します。



プッシュ
(初期設定)

ホールド

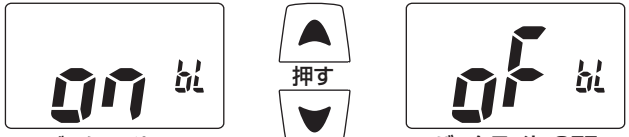
6 セットモード

◇ 自動バックライト機能

キー操作時、表示部やテンキーのバックライト点灯の有無を設定します。夜間や暗い場所での使用に便利です。

[PTT]を除くキー操作をしたとき、自動で点灯します。

➥ 約5秒間キー操作がない状態がつづくと、消灯します。



バックライト ON
（初期設定）

バックライト OFF

◇ LCD コントラスト

LCDのコントラストをHighまたはLowに設定します。
屋外でご使用になる場合、周囲の明るさに応じて設定すると、表示部が見やすくなります。

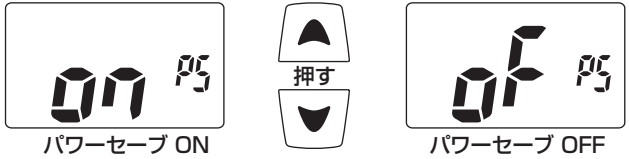
- Hi：初期設定では、Hiになっています。
- Lo：Hi設定よりコントラストが弱まります。

Highコントラスト
（初期設定）

Lowコントラスト

◇ パワーセーブ機能

パワーセーブ機能は待ち受け状態で一定時間本機を操作しないあいだ、自動的に休止状態にして消費電流を少なくする機能です。
無信号状態で5秒以上キー操作がないとき、パワーセーブ機能が動作します。

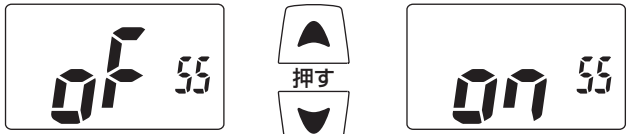


パワーセーブ ON
（初期設定）

パワーセーブ OFF

◇ スケルチ感度

スケルチ感度をONすると、スケルチが開きにくくなり、ある程度の強い電波だけを受信します。
スケルチレベルの値をより大きくすることで、通話中のノイズによる影響を軽減します。



スケルチ感度OFF
(初期設定)

スケルチ感度ON

◇ Lowパワー固定機能

Lowパワー固定機能は、別売品のバッテリーケース(BP-251)を装着しているときだけに表示されます。
バッテリーケース装着時にON設定にすると、チャンネル16以外のチャンネルでの送信出力をLowに固定します。これにより、装着しているアルカリ乾電池の消耗を抑えることができます。

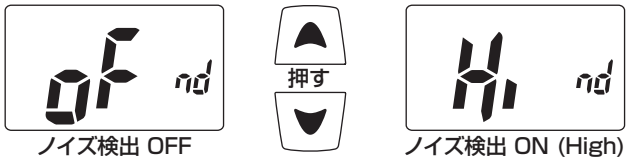
Lowパワー固定 OFF
(初期設定)

Lowパワー固定 ON

◇ ノイズ検出機能

ノイズ検出機能は、待ち受け時に周囲のノイズを事前に検出することで、ある程度の強い信号を受信したときに音量レベルを自動的に大きくする機能です。
なお、スケルチが開いている状態ではノイズを検出しません。

- oF : ノイズ検出機能を無効にします。
- Lo : 検出されたノイズが設定レベル(固定)を上回るとき、音量レベルを上げます。
- Hi : 検出されたノイズが設定レベル(固定)を上回るとき、Lo設定よりさらに音量レベルを上げます。



ノイズ検出 OFF
(初期設定)

ノイズ検出 ON (High)

7 充電について

■ 安全な充電のために

⚠危険

◎充電するときは、必ず本製品の付属品、または次ページに記載の充電器をご使用ください。
◎指定(BP-252)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。
◎「安全上のご注意」(☞Px ～xiii)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

■ 電池の残量表示について

電池残量表示部は、バッテリーパック(BP-252)、バッテリーケース(別売品：BP-251)のバッテリー残量を表示します。

※ 交換時期になりましたら、バッテリーパックの場合は充電し、バッテリーケースの場合は、新しいアルカリ乾電池と交換してください。
※ バッテリーパック(BP-252)とバッテリーケース(別売品：BP-251)とでは残量表示条件が異なります。アルカリ乾電池は使い切りであるため、「十分」の時間が長く、ある程度の電圧低下時まで使えるように設定しています。

表示	[▮▮▮]	[▮▮]	[▮]	[ ]
バッテリーパック/バッテリケースの状態	十分	残量あり	残量少	残量なし

[▮▮▮] 過充電時には点滅します。
[ ] 電池残量がなくなると点滅します。

■ バッテリーパック(BP-252)の定格について

◎電池の種類　：　リチウムイオン
◎電池の容量　：　950mAh(min)/980mAh(typ)
◎出力電圧　：　7.4V
◎充電時間　：　10～11時間

＊ バッテリーパックは完全防水構造ではありません。無線機に装着することで、無線機本体の防水性能に適合します。

■ 正しい充電のために

◎お買い上げいただいたときや、約2ヵ月充電しなかったときは必ず充電してください。

◎バッテリーパックは、継ぎ足し充電ができますので、常に満充電にしてご使用ください。
なお、満充電した直後に再充電しないでください。

◎満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、バッテリーパックの寿命が短くなるおそれがあります。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、残量表示が「残量あり」の状態になるまで使用し、無線機からバッテリーパックを取りはずして保管してください。

<バッテリーパックの保管温度範囲>
約1ヵ月　：−20 ～+50℃
約3ヵ月　：−20 ～+35℃
約1年　　：−20 ～+20℃

◎極端に高温、または低温の環境下や、バッテリーパックと充電器の温度差が大きい場合、充電できないことがあります。
0 ～ 45℃の温度範囲以外の環境で充電しないでください。

◎バッテリーパックは消耗品ですから、充電を繰り返すと運用時間が少しずつ短くなります。
運用時間が極端に短くなったときは寿命ですので、新しいバッテリーパック(別売品)をご購入ください。

◎充電口や充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、正常に充電できないことがあります。定期的に乾いた布などでお手入れをしてください。

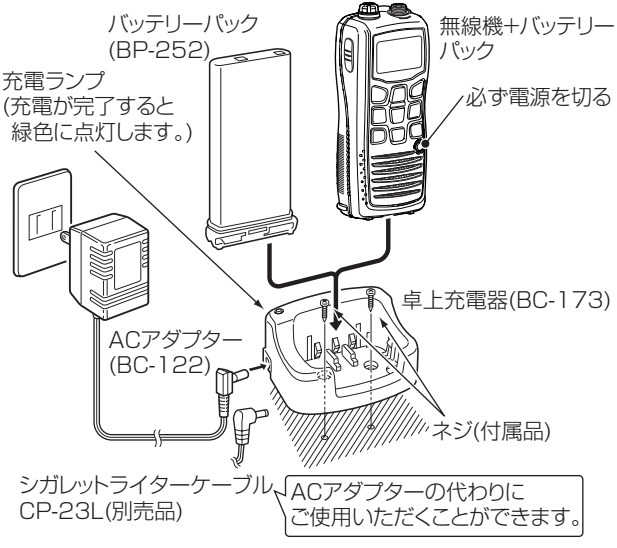
■ 充電のしかた (BP-252/BC-173)

◎バッテリーパック単体、または無線機に装着した状態で充電できます。(無線機に装着して充電するときは、必ず電源を切って充電してください。電源を入れたまま充電すると、正常に充電できません。)

◎充電中、充電ランプは橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

◎充電時間は約10時間です。(バッテリーの消耗程度により異なります。)

◎充電器(BC-173)は、内蔵の充電タイマー機能により、約14時間で自動的に充電を停止します。

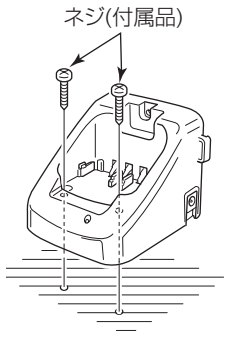


7 充電について

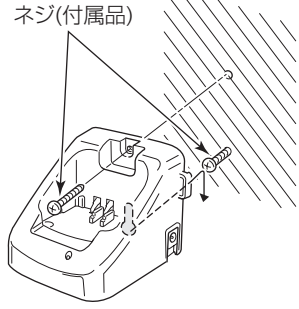
■ 卓上急速充電器 (別売品 : BC-162)

◇ BC-162の取り付けかた

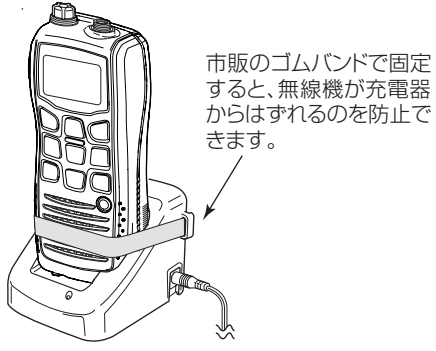
• 卓上に取り付ける場合



• 壁に取り付ける場合



• ご参考に



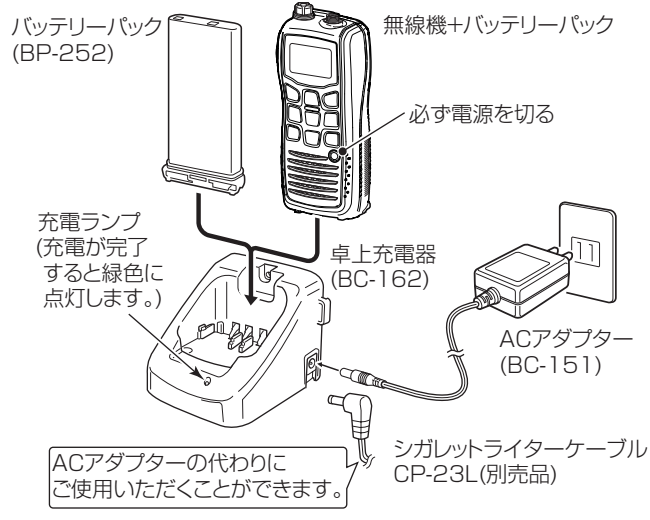
◇ 充電のしかた

◎ バッテリーパック単体、または無線機に装着した状態で充電できます。(無線機に装着して充電するときは、必ず電源を切って充電してください。電源を入れたまま充電すると、正常に充電できません。)

◎ 充電中、充電ランプは橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

◎ バッテリーパックの充電時間は約2時間です。

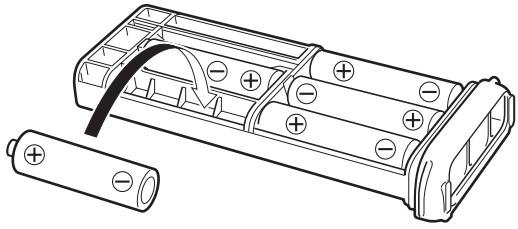
◎ 充電器(BC-162)は、充電タイマー機能により、約4時間経過すると自動的に充電を停止します。



■ バッテリーケース（別売品：BP-251）

◇ 正しくご使用いただくために

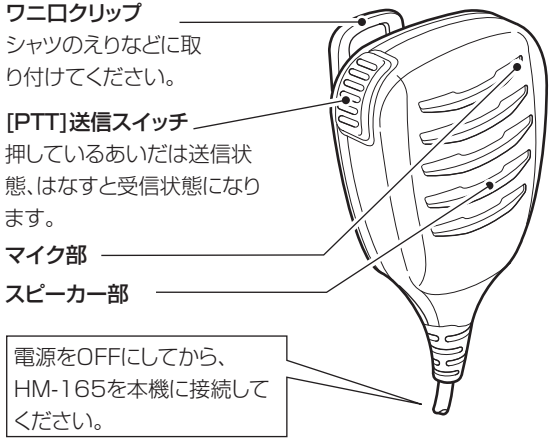
◎ ご使用頂くアルカリ乾電池は単4形です。
◎ アルカリ乾電池の極性(⊕と⊖)に、ご注意ください。
◎ バッテリーケースの電圧が、本製品の動作範囲以下になると、電源が切れます。
◎ バッテリーケースの電池端子部にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがあります。
各端子は、乾いた布などで定期的にお手入れしてください。
◎ バッテリーケースを使用しないときは、アルカリ乾電池を取りはずして保管してください。
◎ アルカリ乾電池に記載されている注意事項も、併せてお読みいただき、正しくご使用ください。
◎ 使用条件やアルカリ乾電池の種類(製造元など)により、運用時間が異なることがありますので、ご注意ください。
◎ バッテリケースを装着した場合でも、本製品は浮かびます。但し、取り付けるアルカリ乾電池の種類によって重さが異なり、本製品が沈む可能性がありますのでご注意ください。



【ご参考に】
◎ 電池は、気温が低下するほど容量の減少が著しくなります。使用できる温度の下限は、一般的に－10℃とされています。
◎ 寒冷地でご使用になる場合は、バッテリーケースの部分を十分に保温しながらご使用ください。
◎ 表示全体が一瞬消えたり、表示が全体的に薄くなったりすると、電池の交換時期です。

8 スピーカーマイクロホンについて

■ HM-165の使いかた



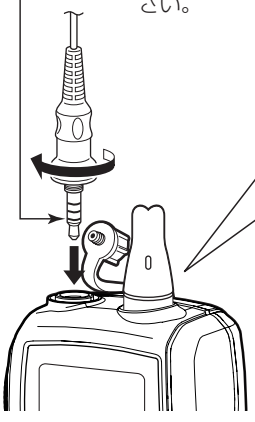
ご注意

◎ コネクターを濡らさないでください。万一濡れた場合は、十分に乾かしてから、無線機本体に取り付けてください。
◎ スピーカーマイクロホンをご使用にならないときは、[SP MIC]キャップでフタをして、浸水しないようにしてください。万一浸水すると、端子がさびたり、また無線機が正常に機能しなくなったりするおそれがあります。
◎ 本製品にスピーカーマイクロホンを接続している場合は、ノイズ検出機能とノイズキャンセリング機能は動作しません。

■ 取り付けかた

① スピーカーマイクロホンを接続する前に、本機の電源をOFFにします。
② スピーカーマイクロホンのコネクターを[SP MIC]端子に挿入し、ネジで完全にしめて取り付けてください。斜めになった状態でネジをしめないようにご注意ください。

ご注意:コネクターの抜けや接続部の浸水を防ぐために、コネクターをしっかりとしめて取り付けてください。



[SP MIC]キャップの取りはずしかた:
[SP MIC]キャップを反時計回りに回して、取りはずします。

[SP MIC]キャップの取り付けかた:
[SP MIC]キャップをはめて、完全にしまるまで時計回りに回します。

マイクロホンに向かって話すときは
マイクロホンは本体の上部（頂上部）に内蔵されています。マイク部と口元は5cmぐらいはなし、普通の大きさの声で話してください。

【別売品に関する注意事項】
弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧表

[★]印のものは、無線機本体に装着することで、JIS保護等級7(防浸形)相当の防水性能に適合します。

バッテリー関係

- ●BP-252★ :リチウムイオンバッテリーパック (補修用)
- ●BP-251★ :バッテリーケース (単4形アルカリ乾電池×5本)

スピーカーマイクロホン

- ●HM-165★ :スピーカーマイクロホン (無線機本体装着時JIS7:防浸形相当)

充電する

- ●BC-173 :卓上充電器 (補修用:ACアダプターのBC-122が同梱されています。)
- ●BC-162 :卓上急速充電器 (BC-151が同梱されています。)
- ●BC-151 :ACアダプター
- ●CP-23L :シガレットライターケーブル (BC-173、BC-162専用の電源ケーブル:CP-23Lの取扱説明書参照)

その他

- ●MB-109 :ベルトクリップ (補修用)
- ●FA-SC58V :アンテナ (補修用)

10 ご参考に

■ 故障かなと思ったら

下記のような現象は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

現　　象	原　　因	処　　置	参照
電源がONにならない	◎電池の消耗 ◎電池の極性まちがい	●バッテリーパックを充電する ●バッテリーケースに挿入しているアルカリ乾電池の極性を確認して入れなおす	P22、23 P24
スピーカーから音が出ない	◎スケルチレベルが大きすぎる ◎音量レベルが小さすぎる ◎スピーカー部分に水が入っている	●スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前に設定する ●音量を適切なレベルに設定する ●アクアクェイク機能を使ってスピーカー部分から水を抜く	P9 P9 P12
送信できない、または送信出力のHighパワー(5W)を選択できない	◎チャンネルの中には、受信専用・Lowパワー専用のチャンネルがある ◎電池の消耗 ◎送信出力がLowパワー(1W)にセットされている	●チャンネルを変更する ●バッテリーパックを充電する ●[HI/Lo]を押してHighを選択する	P8 P22、23 P10
表示画面が動かない	◎ロック機能が動作している	●[HI/Lo]を長く(約1秒)押して、機能を解除する	P12
スキャンがスタートしない	◎タグチャンネル(スキャン対象チャンネル)設定がされていない	●タグ(スキャン対象)チャンネルに設定する	P14
ビープ音が鳴らない	◎セットモードでビープ音がOFF設定になっている	●セットモードでビープ音をONにする	P17
ノイズキャンセリング機能が動作しない	◎サブマイクが何かで覆われている ◎外部スピーカーマイクロホン(別売品)を取り付けている	●サブマイクが何かで覆われていないか確認する ●マイクを無線機本体から取りはずす	P3、5 P25
ノイズ検出機能が動作しない	◎サブマイクが何かで覆われている ◎スケルチが開いている	●サブマイクが何かで覆われていないか確認する ●スケルチレベルを適当なレベルに調整する	P3、5 P9

■ 故障のときは

● **保証書について**

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● **修理を依頼されるとき**

「故障かなと思ったら」(☞P27)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **弊社製品のお問い合わせ先について**

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社　サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)
受付(平日 9:00～17:00)
電子メール:support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ:http://www.icom.co.jp/

● 弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ(http://www.icom.co.jp/)をご覧ください。

11 定格

■ 一般仕様

国際チャンネル(INT)

- **送信周波数範囲:** 156.025 ～ 157.425MHz
- **受信周波数範囲:** 156.300 ～ 162.025MHz

ウェザーチャンネル(WX) ※受信のみ

- **受信周波数範囲:** 161.650 ～ 163.275MHz
- **チャンネル数:** 57ch(国際チャンネル)
  :10ch(ウェザーチャンネル)

※ウェザーチャンネルは米国で運用されているサービスのため、日本の海域および近海では受信できません。

- **電波型式:** F3E
- **使用温度範囲:** −20℃～+60℃
- **電源電圧:** 弊社指定のバッテリーパック/バッテリーケースに限る
- **消費電流(7.4V時):** 約1.3A(送信時:5W)
  約0.7A(送信時:1W)
  約60mA(待ち受け時)
  約300mA
  (受信最大出力時:内蔵スピーカー)
  約200mA
  (受信最大出力時:外部スピーカー)
  約10mA(パワーセーブ時)
- **接地方式:** マイナス接地
- **アンテナインピーダンス:** 50Ω(不平衡)
- **外形寸法:** 62(W)×139.5(H)×43(D)mm
  ※突起物を除く。
- **重量:** 約295g
  ※BP-252/アンテナ/ベルトクリップを含む。

■ 送信部

- **送信出力:** 5W/1W

※別売品のバッテリーケースBP-251(単4形アルカリ乾電池×5本)使用時は、2W/1Wになります。

- **変調方式:** リアクタンス変調

■ 受信部

- **受信方式:** ダブルスーパーヘテロダイン方式
- **受信感度:** −12dBμ(Typ.)　12dB SINAD時
- **低周波出力:** 約700mW
  (16Ω、10%歪時: 内蔵スピーカー)
  約350mW
  (8Ω、10%歪時: 外部スピーカー)

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)	
	送信	受信		送信	受信		送信	受信		送信	受信
01	156.050	160.650	21	157.050	161.650	72	156.625	156.625	WX1	受信専用	162.550
02	156.100	160.700	22	157.100	161.700	73	156.675	156.675	WX2	受信専用	162.400
03	156.150	160.750	23	157.150	161.750	74	156.725	156.725	WX3	受信専用	162.475
04	156.200	160.800	24	157.200	161.800	75*	156.775	156.775	WX4	受信専用	162.425
05	156.250	160.850	25	157.250	161.850	76*	156.825	156.825	WX5	受信専用	162.450
06	156.300	156.300	26	157.300	161.900	77	156.875	156.875	WX6	受信専用	162.500
07	156.350	160.950	27	157.350	161.950	78	156.925	161.525	WX7	受信専用	162.525
08	156.400	156.400	28	157.400	162.000	79	156.975	161.575	WX8	受信専用	161.650
09	156.450	156.450	60	156.025	160.625	80	157.025	161.625	WX9	受信専用	161.775
10	156.500	156.500	61	156.075	160.675	81	157.075	161.675	WX10	受信専用	163.275
11	156.550	156.550	62	156.125	160.725	82	157.125	161.725			
12	156.600	156.600	63	156.175	160.775	83	157.175	161.775			
13	156.650	156.650	64	156.225	160.825	84	157.225	161.825			
14	156.700	156.700	65	156.275	160.875	85	157.275	161.875			
15*	156.750	156.750	66	156.325	160.925	86	157.325	161.925			
16	156.800	156.800	67	156.375	156.375	87	157.375	161.975			
17*	156.850	156.850	68	156.425	156.425	88	157.425	162.025			
18	156.900	161.500	69	156.475	156.475						
19	156.950	161.550	70	受信専用	156.525						
20	157.000	161.6 00	71	156.575	156.575						

*Lowパワー専用のチャンネルです。

MEMO

MEMO

高品質がテーマです。

A-6799D-1J
Printed in Japan
© 2009 Icom Inc.

この印刷物は環境にやさしい再生紙と植物性インクを使用しています。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32